

PATENT ABSTRACT OF JAPAN

(11) Publication Number: H06-13258
(43) Date of Publication : 18.02.1994

(51) Int.CI. H04N 1/00

(21) Application Number:H04-56956 (71) Applicant: Funai electronics
(22) Date of filing : 20.07.1992 (72) Inventor: IRIE KATSUMI

(54) facsimile apparatus

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To achieve a facsimile apparatus which is capable of sending a header configured by the language of the country when a communication is performed with a foreign country.

SOLUTION: A facsimile apparatus, which transmits and receives image data through telephone line, includes a header information storage mechanism, a transmission country identifying mechanism, a header information reading mechanism and a transmission mechanism. The header information storage mechanism stores header information written by a plurality of languages. The transmission country identifying mechanism identifies the country to be transferred by the telephone number. The header information reading mechanism reads the header information written by the language of the country which is identified by the transmission country identifying mechanism. The transmission mechanism transmits the header information read by the header information reading mechanism.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開実用新案公報(U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平6-13258

(43)公開日 平成6年(1994)2月18日

(51)Int.Cl.⁵

H 0 4 N 1/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

B 7046-5C

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願平4-56956

(22)出願日 平成4年(1992)7月20日

(71)出願人 000201113

船井電機株式会社

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

(72)考案者 入 江 克 己

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号 船井

電機株式会社内

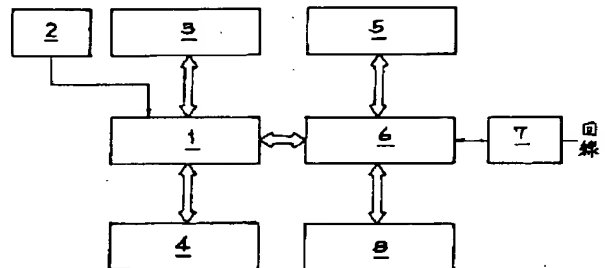
(74)代理人 弁理士 佐藤 英昭

(54)【考案の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【目的】 外国との間でファクシミリ通信を行うときには、その国の言語により構成されたヘッダーを送信することの出来るファクシミリ装置を提供する。

【構成】 電話回線を介して画像データを送受信するファクシミリ装置において、複数の言語によるヘッダー情報が格納されたヘッダー情報記憶手段と、送信先の電話番号からその送信先の国を識別する送信先国識別手段と、その送信先国識別手段により識別した国で使用されている言語による上記ヘッダー情報を上記ヘッダー情報記憶手段から読み出すヘッダー情報読出手段と、そのヘッダー情報読出手段により読み出したヘッダー情報を送信先に送信する送信手段を備える。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 電話回線を介して画像データを送受信するファクシミリ装置において、複数の言語によるヘッダ情報が格納されたヘッダ情報記憶手段と、送信先の電話番号からその送信先の国を識別する送信先国識別手段と、その送信先国識別手段により識別した国で使用されている言語による上記ヘッダ情報を上記ヘッダ情報記憶手段から読み出すヘッダ情報読出手段と、そのヘッダ情報読出手段により読み出したヘッダ情報を送信先に送信する送信手段を備えたファクシミリ装置。

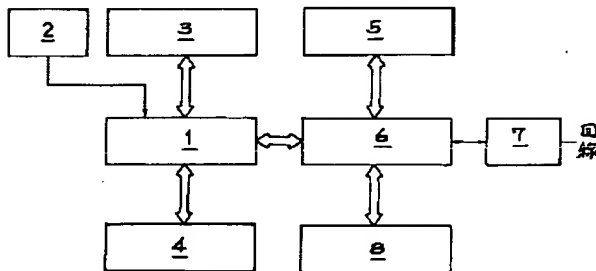
【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案のファクシミリ装置の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】 送信先言語ヘッダ情報記憶用ROMに格納されたヘッダ情報のメモリマップを示す説明図である。

【図3】 送信先の電話番号の国番号からその国の言語により構成されるヘッダ情報を送信先言語ヘッダ情報記憶用ROMから読み出すための、国番号情報とその国番号情報に夫々対応するヘッダ情報HDの記憶エリアの先頭アドレスを示すデータテーブルDTを示す説明図*20

【図1】



【図3】

国番号情報	ヘッダ情報記憶エリア 先頭アドレス
n 1	AD 1
n 2	AD 2
n 3	AD 3
⋮	⋮
n n	AD N

【図8】

平成〇年〇月〇日(〇)〇時〇分

*である。

【図4】 送信先言語ヘッダ情報記憶用ROMに格納された英語により構成されたヘッダ情報により受信側の記録紙に記録されたヘッダを示す説明図である。

【図5】 この考案のファクシミリ装置の一実施例の動作を説明するためのフローチャートである。

【図6】 従来のファクシミリ装置の構成を示すブロック図である。

【図7】 ヘッダ情報記憶用ROMに格納されている日本語によるヘッダ情報を示す説明図である。

【図8】 従来のファクシミリ装置のヘッダを示す説明図である。

【符号の説明】

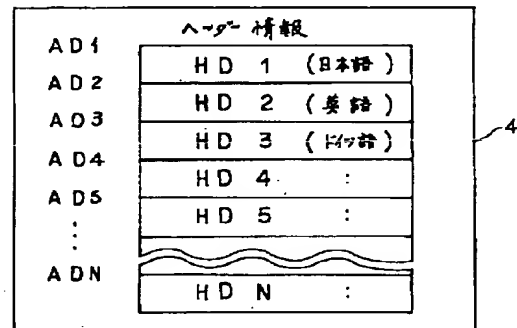
1 マイクロプロセッサ(送信先国識別手段、ヘッダ情報読出手段)

4 送信先言語ヘッダ情報記憶用ROM(送信先言語ヘッダ情報記憶手段)

HD(1, 2, …, N) ヘッダ情報

7 モデム(送信手段)

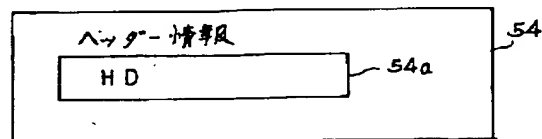
【図2】



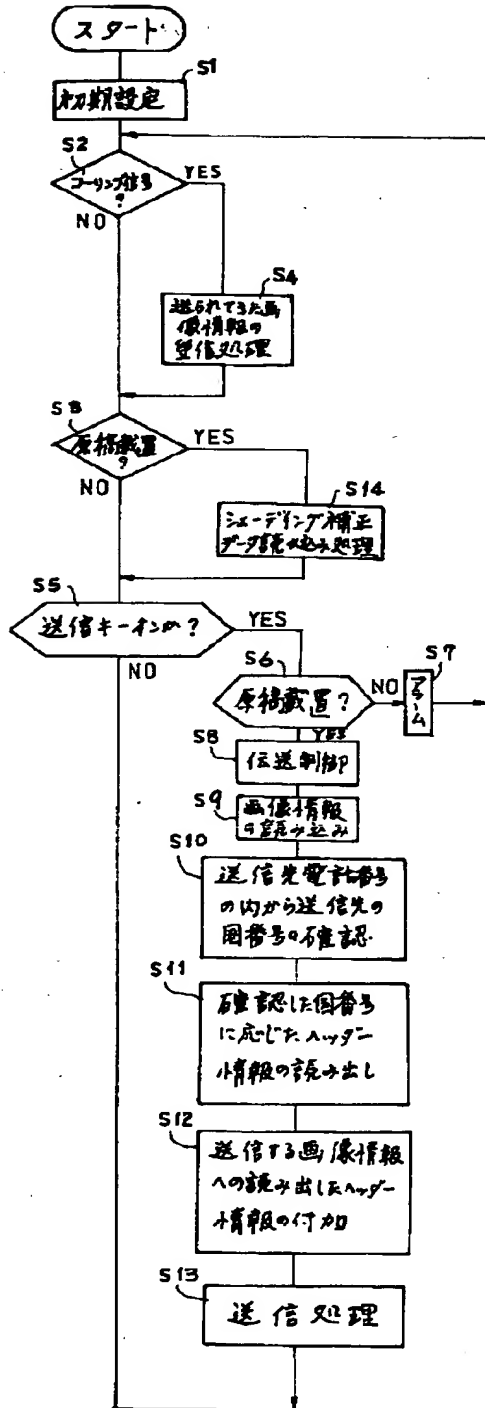
【図4】

JAN 27 1992 10:10 (MON)

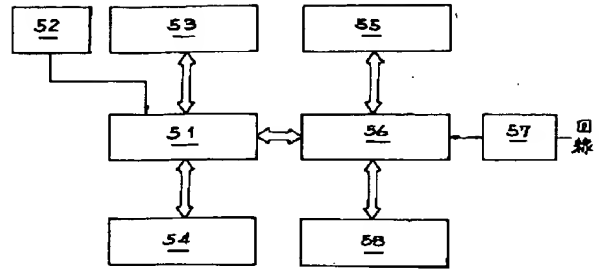
【図7】



【図5】



【図6】



【考案の詳細な説明】**【0001】****【産業上の利用分野】**

この考案は、ファクシミリ装置に関し、さらに詳しくは、送信先の国で使用されている言語によるヘッダー情報を送信することの出来るファクシミリ装置に関する。

【0002】**【従来の技術】**

従来のファクシミリ装置の構成を図6に示す。このファクシミリ装置は、マイクロプロセッサ51とキー入力部52と電話番号記憶用メモリ53と、ヘッダー情報記憶用ROM54と原稿等の読取部55と画信号処理部を含む制御回路56とモデム57、さらに送られてきた画像情報から元の画像を記録紙上に再現して記録する記録部58を備えている。

【0003】

マイクロプロセッサ51は、全体のシステム制御や画像情報の転送制御処理等を行うものである。キー入力部52は、送信先の電話番号や操作信号を入力するための複数のキーを備えている。電話番号メモリ53は、予め登録された電話番号を格納しているメモリである。

【0004】

ヘッダー情報記憶用ROM54には、日本語によるヘッダー情報HDが格納されている。図7は、前記ヘッダー情報記憶用ROM54のヘッダー情報格納エリア54aを示す説明図である。図8は、前記ヘッダー情報記憶用ROM54のヘッダー情報格納エリア54aに格納されたヘッダー情報HDにより受信側の記録紙に記録されたヘッダーを示している。このヘッダーにおける○の部分には図示していないカレンダータイマにより送信が行われたときの年月日と曜日と時刻のデータが挿入されている。

【0005】

制御回路56は、CCD等の画像センサを含む読取部55が原稿を読み取ることにより出力する画像情報や送られてくる画像情報を処理する画像情報処理部や

伝送制御、誤り制御等を行う通信制御部等を備えている。

【0006】

記録部58は、制御回路56により処理された送られてきた画像情報をサーマルヘッドにより記録紙上に記録する。

【0007】

モデム57は、送信される画像情報を変調して電話回線に送り出したり、電話回線により送られてきた信号を復調して画像情報を受信し、制御回路56に出力する回路である。

【0008】

このファクシミリ装置では、読取部55が原稿を読み取り、この結果得られた画像情報に対し図7に示すヘッダー情報を付加し、さらに制御回路56により処理を行った後、モデム57により変調を行い、電話回線に送り出す。

【0009】

【考案が解決しようとする課題】

しかしながら、上述した従来のファクシミリ装置では、日本語やアルファベットや数字により構成されるヘッダーは、予め設定されてヘッダー情報記憶用ROM54に格納されているものであり、その構成は図8に示すようにヘッダー情報記憶用ROM54に格納されているヘッダー情報により決定され固定されており、特に国内でのファクシミリ通信においては不都合ではないが、外国とのファクシミリ通信においては日本語により構成されたヘッダーを受信者が受けることになり、受信者が外国人であるようなときには日本語により構成されたヘッダーを受信者が理解できない問題点があった。

【0010】

この考案は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、外国との間でファクシミリ通信を行うときには、送信先の国の言語により構成されたヘッダーを送ることの出来るファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【0011】

【課題を解決するための手段】

この考案のファクシミリ装置は、電話回線を介して画像データを送受信するフ

ファクシミリ装置において、複数の言語によるヘッダー情報が格納されたヘッダー情報記憶手段と、送信先の電話番号からその送信先の国を識別する送信先国識別手段と、その送信先国識別手段により識別した国で使用されている言語による上記ヘッダー情報を上記ヘッダー情報記憶手段から読み出すヘッダー情報読出手段と、そのヘッダー情報読出手段により読み出したヘッダー情報を送信先に送信する送信手段を備えたことを構成上の特徴とする。

【0012】

【作用】

この考案におけるファクシミリ装置は、ファクシミリ通信を行う際の送信先の電話番号からその送信先の国を識別し、識別した送信先の国で使用されている言語による上記ヘッダー情報を送信先言語ヘッダー情報記憶手段から読み出し、読み出したヘッダー情報を付加して送信先に送信する。したがって、受信者が当該国の人であれば、その国の言語により構成されたヘッダーが付加されているのでヘッダーを確実に理解できることになる。

【0013】

【実施例】

以下、この考案を図面に基づいて説明する。図1は、この考案のファクシミリ装置の一実施例の構成を示すブロック図である。図において、このファクシミリ装置は、マイクロプロセッサ1とキー入力部2と電話番号記憶用メモリ3と、送信先言語ヘッダー情報記憶用ROM4と原稿等の読取部5と画信号処理部を含む制御回路6とモデム7、さらに送られてきた画像データから元の画像を記録紙上に再現して記録する記録部8を備えている。

【0014】

マイクロプロセッサ1は、全体のシステム制御や画像情報の転送制御処理等を行うものである。キー入力部2は、送信先の電話番号や操作信号を入力するための複数のキーを備えている。電話番号メモリ3は、予め登録された電話番号を格納しているメモリである。

【0015】

送信先言語ヘッダー情報記憶用ROM4には、日本語によるヘッダー情報HD

1や英語によるヘッダー情報HD 2やドイツ語によるヘッダー情報HD 3等世界各国の言語によるヘッダー情報が夫々所定のエリアに格納されている。

【0016】

図2は、前記送信先言語ヘッダー情報記憶用ROM 4に格納されたヘッダー情報のメモリマップを示す説明図であり、日本語によるヘッダー情報HD 1は、先頭アドレスがAD 1であるエリアに記憶され、また英語によるヘッダー情報HD 2は、先頭アドレスがAD 2であるエリアに記憶され、ドイツ語によるヘッダー情報HD 3は、先頭アドレスがAD 3であるエリアに記憶されている。

【0017】

図3は、送信先の電話番号の国番号からその国の言語により構成されるヘッダー情報を送信先言語ヘッダー情報記憶用ROM 4から読み出すための、国番号情報(n1, n2, n3...nn)と、その国番号情報に夫々対応するヘッダー情報HD(1, 2, 3...N)の記憶エリアの先頭アドレスを示すデータテーブルDTを示す説明図である。

【0018】

図4は、前記送信先言語ヘッダー情報記憶用ROM 4に格納された英語によるヘッダー情報HD 2により受信側の記録紙に記録されたヘッダーを示している。

【0019】

このヘッダーにおける○の部分には、図示していないカレンダータイマにより送信が行われたときの年月日と曜日と時刻のデータが挿入されている。

【0020】

制御回路6は、CCD等の画像センサを含む読取部5が原稿を読み取ることにより出力する画像情報や送られてくる画像情報を処理する画像情報処理部や伝送制御、誤り制御等を行う通信制御部等を備えている。記録部8は、制御回路6により処理された受信画像情報をサーマルヘッドにより記録紙上に記録する。

【0021】

モデム7は、送信される画像情報を変調して電話回線に送り出したり、電話回線により送られてきた信号を復調して画像情報を受信し、制御回路6に出力する回路である。

【0022】

次に動作について図5に示すフローチャートに基づいて説明する。まず初期設定がされ（ステップS1）、その後コーリング信号が検出されたか否かが判断される（ステップS2）。コーリング信号が検出されると、送られてくる信号の受信処理が行われる（ステップS4）。この受信処理は、伝送制御処理や受信準備完了信号送出処理や、相手先端末に接続された電話回線を介して送られてきた信号からモデム7により画像情報を復調する等の処理である。

【0023】

一方ステップS2において、コーリング信号が検出されないときには、読取部5に原稿が載置されているか否かが判断される（ステップS3）。原稿が載置されているときには、シェーディング補正データの読み込み処理が行われる（ステップS14）。

【0024】

次に、キー入力部2から送信先電話番号が入力されたか否か、さらには送信キーが押下されオンしたか否かを判断する（ステップS5）。送信先電話番号が入力され、さらに送信キーが押下されオンしたと判断すると読取部5に原稿が載置されているか否かを判断し（ステップS6）、原稿が載置されていないときにはアラーム音を発生させる（ステップS7）。一方ステップS6において、原稿が載置されていると判断すると相手先端末との間で伝送制御を行って送信の準備を行い（ステップS8）、この伝送制御処理により相手先端末から受信準備完了信号が送られてくると、読取部5により画像情報の読み込みを行う（ステップS9）。さらに国際電話によるファクシミリ通信であるときには、送信先の電話番号の内から送信先の国番号の確認を行う（ステップS10）。さらに、確認された送信先の国番号を基に送信先言語ヘッダー情報記憶用ROM4からその国の言語により構成されているヘッダー情報を読み出す（ステップS11）。

【0025】

この国番号に対応したヘッダー情報の読み出しは次のようにして行われる。すなわち、送信先の電話番号に付されたステップS10において確認された国番号（n1, n2, n3・・・nn）を基に、その国番号に対応したヘッダー情報が

格納されている記憶エリアの先頭アドレスADを図3に示すデータテーブルDTから検索して読み出し、さらに読み出した先頭アドレスADを基に、そのアドレスADを先頭アドレスとする送信先言語ヘッダー情報記憶用ROM4の記憶エリアに格納されている図2に示すヘッダー情報HDを読み出し、この送信先の国の言語により構成されるヘッダー情報を送信する画像情報に付加して送信先に送ることになる（ステップS12、ステップS13）。

【0026】

このようにして送信先の国の言語により構成されたヘッダー情報が付されて送信され、送信先で記録紙に記録されたヘッダーを図4に示す。図4に示したヘッダーは英語により構成されたものであるが、送信先がドイツ国であるときには、その送信先の電話番号に付された国番号からドイツ語により構成されたヘッダー情報が送られるのでドイツ語によるヘッダーとなる。

【0027】

【考案の効果】

以上説明してきたようにこの考案によれば、ファクシミリ通信を行う際の送信先の電話番号からその送信先の国を識別し、識別した国の言語により構成されるヘッダーを送信先に送ることが出来るので、受信者が当該国の人であっても、送られてきたヘッダーを確実に理解できることになる。